自由民主党



現在の第一庁舎

世田谷区議会議員

和田ひでとし通信

第１４号

皆様のおかげで、区議会議員２期目の１年が過ぎました。区議団政調会長として忙しくも充実したこの１年はあっという間に過ぎましたが、引き続き議会では企画総務委員長を務めてまいります。

いよいよ９０万都市になった世田谷区は、保育待機児対策・本庁舎建て替え・高齢者対策など課題が山積ですが、２０２０オリンピック・パラリンピック東京大会を控え、区政はしっかりと前に進まなければなりません。引き続き、皆様とともに「心ゆたかなまちづくり」をめざしてまいります。

世田谷区役所本庁舎建て替えⅡ

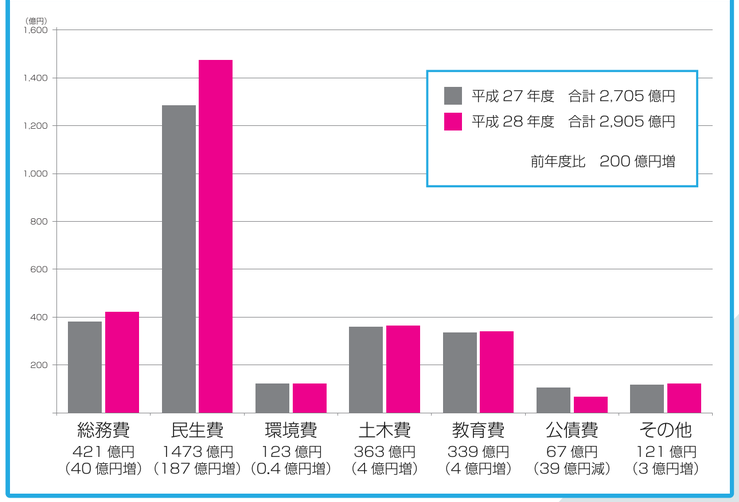
昨年の第３回定例会（９月）代表質問で私が取り上げました「区役所本庁舎の建て替え」は、第１３号でお知らせしましたとおり、区長が「中庭を囲む特徴的な景観を継承し…」として全面改築に踏み切れず、今年２月に基本構想素案を発表する予定でしたが、結局できず、４月から新たに基本構想検討委員会を発足させ、７月まで議論して８月に素案の発表となりました。

そのような中、またしても震度７の大地震が発生し、熊本県を中心に大きな被害が出てしまいました。特に災害対策拠点となるべき市役所本庁舎が壊れてしまい機能しなくなってしまったことが、私たちの世田谷区にも警鐘を鳴らしているようです。一刻も早く全面建て替えを決断すべきです。


第一庁舎・区民会館と道路を隔てた世田谷区役所第二庁舎

平成２８年度予算について（６７年ぶりの予算修正可決）

平成２８年度 一般会計歳出予算（職員費を含む）



３月２９日に閉会しました第１回定例会では６７年ぶりの予算修正可決となりました。

修正箇所は本庁舎建て替えに関して、一部保存ありきで組まれた現庁舎の劣化度調査費用等約１千万円です。基本構想素案の延期はしかたないとしても、検討委員会発足で議論すべきとしていながら予算では一部保存ありきとは、全く理解できません。

本会議場壇上より予算修正案に対する賛成意見を述べましたので、その一部を抜粋いたします。

右上へつづく

区の予算 2,905 億円を１万円にたとえると・・・？

２９０５億円と言われてもなかなかピンと来ないのではないでしょうか。
みなさまが収めた区民税がどのように使われるか、想像していただきやすいよう１万円にたとえてみました。

その他	公債費	環境費	土木費	教育費	総務費	民生費
579 円	352 円	478 円	896 円	1,463 円	1,808 円	4,424 円
健康づくり 産業振興 等に	特別区債（借入金）の返済に	環境対策や 清掃・リサイクル 関連事業に	道路・公園の維持 建物の耐震化 都市整備関連に	小・中学校の教材 校舎の整備 図書館の運営等に	災害対策、文化事業 スポーツ振興や区民利用 施設の維持運営等に	高齢者・障害者・子育て 支援や生活保護等の 福祉事業に

左下からのつづき

予算修正案に対する賛成意見（一部抜粋）

この度の修正は、昨年から続く本庁舎整備の議論の根幹である、「一部保存」か「全面改築」に関わるものです。景観の継承に拘り一部保存したいとする区長は、我が会派をはじめとする「全面改築」とすべきとの意見を無視できず、一度立ち止まり、検討委員会を設けて幅広くオープンな議論を行い、議会の意見も踏まえて、整備手法を判断するとしました。

しかし、未だに一部保存に拘っているという区長の本心、その核心部分が今回の修正箇所であります。庁舎を一部保存する場合に必要な調査費を「庁舎計画事務」の名目で予算の中に包み込み計上していた事実を見れば、議会の意見など関係なく、庁舎の一部保存を決めている、議会が予算に反対などできるわけがないと高をくくっている姿勢すら垣間見えると思わざるを得ません。保坂区長の決まり文句である「議会との真摯な意見交換」や「議会での議論を踏まえ」とは、いったい何を意味しているのでしょうか。


本会議場壇上より予算修正案に対する賛成意見を述べる和田ひでとし

保坂展人区長に対する決議文

第１回定例会において自民･公明･Ｆ行革の３会派より出された決議文（全文）

議員提出議案第２号
「区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し、議会の存在を軽視する言動を改めることを求める決議」

日本国憲法は、第９３条第１項で「地方公共団体には、法律の定めるところにより、その議事機関として議会を設置する」と定め、地方議会の設置根拠を保証している。

このような地位に立つ議会の使命は、第一に、地方公共団体の具体的政策を最終決定すること、第二に、執行機関の行財政運営や事務処理が全て適法･適正に、しかも公平･効率的かつ民主的になされているかを住民の立場に立ち、監視することである。

保坂展人区長は、世田谷区議会議員選挙・区長選挙直後の平成２７年第１回臨時会の招集挨拶で、「区議会と区政は車の両輪といわれる。真摯な意見交換をもとにして、区民生活を支える政策実現のために、区議会議員の皆さんと虚心坦懐に議論を深め、より良き世田谷区政をつくりあげていきたい。」と述べられていることからも、区議会の使命を十分理解されていると我々は認識していた。

しかしながら、保坂展人区長においては、様々な意見を聞いてからとの言葉を盾にして、区議会の意見・提案には耳を貸さず、本庁舎整備を初めとする区政の重要課題に対する決断を、ことごとく避け続け、区政の停滞と迷走を招いている。さらに、区民を代表する我々議員の質問に対し、真摯な意見交換とは程遠い、議論をはぐらかす議会答弁に終始しておきながら、他の催事では世論を誘導するかのような軽率な態度を露呈するなど、議会を軽視する行為、議会の存在意義をも否定しかねない、言動が多々見受けられる。

よって、世田谷区議会は、区政の停滞と迷走に終止符を打つための、第１歩として、保坂展人区長に対し、区民の代表である我々議員によって構成されている議会の存在を軽視する言動を改めることを強く求めるものである。

以上決議する。

今回の第１回定例会では、予算も「修正可決」という異例の事態になりましたが、さらに区長の姿勢に対して、「決議」を合わせて提出したところ、どちらも賛成多数で可決となりました。自民党区議団政調会長として、今回の３５日間は例年以上に、長く大変厳しい定例会となりました。
９０万都市世田谷区の未来のために、この経験をいかして、これからも区民のために全力で区政運営に取り組んでいかなければなりません。

平成２８年 第１回定例会 予算特別委員会（総括質疑）

「年少人口の増加について」

区は昨年「子ども･子育て応援都市」を宣言していますが、区が全力で取り組んでいるにもかかわらず、保育待機児の解消の展望はなかなか見えてこない現状があります。





QUESTION

今後の人口ビジョンで２０年後も年少人口が増加するということであれば、保育園だけでなく、就学人口の増による学校教育環境にも影響が出てきます。すでにその兆候がある地域もと聞いていますが、区はどのような教育環境を目指すのか。この対応は大変重要であると考えます。区の見解を伺います。

ANSWER

今後長期にわたって人口ビジョンのとおりに推移した場合は学校などの施設需要に影響するため、しかるべき対応が必要になってまいります。現在、区長部局と教育委員会とで連携し、年少人口の増加も注視しながら、今後の人口動向の更なる変化にも柔軟に対応できるよう計画してまいります。


世田谷区長

世田谷区は西部では人口増加傾向、東部では人口減少の傾向がみられ、地域によって教室が足らなくなったり、一方では単学級の学校も存在するという状況があります。人口動向をしっかりとらえて学校環境を整備していかなければなりません。

「中期財政見通しについて」

世田谷区の中期財政見通しが出されていますが､区長が「包摂」という言葉でサービスを拡大していく中で、今後の経済状況によっては、年に１００億規模の減収があることも十分に考えられます。





QUESTION

地域包括ケアやネウボラ、若者支援など、サービス拡大路線をこのまま続けていけば区財政は破綻してしまいます。過去にもあったように、大きな減収になった場合に備え、区はどのように対処していくつもりか、見解を伺います。

ANSWER

経済動向や社会状況の変化が激しいなか、景気変動や制度改正に伴う社会保障関連経費の増減、新たな投資的事業の実施時期など、１０年間というスパンでは施策の優先順位の見極めも非常に難しいものがあります。２８年度には、本庁舎等整備の基本構想の策定、また、区全体の公共施設等総合管理計画を策定してまいります。それらとの整合を図りながら、一定期間の財政見通しについては、今後お示ししてまいります。


世田谷区長

経済が好調ということを前提とした見通しで、本当に大丈夫なのか。改めて区の実態に即した、財政規模・計画を再考すべきと考えます。

2016年５月 発行　世田谷区議会議員 和田秀壽
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 1-40-2　TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928

あなたのご意見をお聞かせください！
info@wadahidetoshi.com

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！
和田ひでとし　検索

平成２８年 第１回定例会 予算特別委員会（補充質疑）

「道路整備について」

世田谷区の区民意識調査では困りごとの１位が１０年連続「道路が狭くわかりづらい」となっています。にもかかわらず区長は都市計画道路補助５４号線の２期・３期区間（下北沢周辺）を東京都の第４次優先整備路線（今後１０年間の計画）からはずす決断をしました。区全体の道路整備の停滞が心配です。
道路は単に車を通すだけのものではなく、災害時には避難路や延焼遮断帯となるなど、区民の命を守る最重要の都市基盤なのです。





QUESTION

道路ネットワークの整備がおくれていることが原因で、通り抜け車両による交通渋滞の発生、住環境の悪化など、さまざまな問題が生じています、改めて９０万都市世田谷区の道路行政として本当にこのままでよいのか伺います。

ANSWER

区といたしましては、区民の生命と財産を守る道路整備は、行政の重要な責務であるとの認識に基づきまして、国庫補助などの特定財源も活用し、必要な予算を確保して、着実に道路の整備を進めてまいりたいと考えております。

副区長

区民の生命と財産を守る道路整備は、行政の重要な責務であると肝に銘じて、世田谷区の道路行政、区民意識調査でもはっきりあらわれているわけですので、ここはしっかりと、道路行政に取り組んでいただきたいと思っております。



「図書館（行政改革）について」



QUESTION

図書館について、これまで何度も申し上げてきましたが、断行すべき行政改革として、図書館への民間活力の導入は不可欠であると考えます。
この間、図書館への民間活力導入によるトラブルが他の自治体で起きたりもしておりますが、問題の原因究明をし、しっかりとした業者の選定を行えば、何の問題もないはずです。何よりも民間活力導入による人員面、サービス面からの行革効果は、まさに未来にわたり効果が持続するものではないでしょうか。
図書館の民間活力導入に向けた姿勢及び中央図書館の機能強化、図書館ネットワークの拡充なども踏まえた、図書館行政の今後の方向性について、改めて伺います。

ANSWER

今後、民間活力活用につきましては、委員お話しの新しく確立した図書館カウンター等の運営状況も含め、多様な運営体制の検証構築を行い、継続して検討してまいります。
また、中央図書館につきましては、来年度、機能拡充に向けた基本構想を策定し、知と学びと文化の情報拠点である図書館ネットワークの中核を担う図書館にふさわしい施設となるよう、さまざまな視点から検討してまいります。魅力ある世田谷らしい図書館の実現を目指し取り組んでまいります。

教育政策部長

時代の流れとともに、現行のサービスが今本当に必要なのかという視点から、そうでないものについては勇気を持って廃止するといったことが必要なのではないかと思います。

「オリンピック・パラリンピックについて」



QUESTION

２０２０年の東京オリンピック・パラリンピック、世田谷区にも馬術競技の会場やアメリカ選手団の事前キャンプなど、世田谷区にとっては、ある意味で千載一遇のチャンスがやってくるわけです。オリンピック・パラリンピックに向けての体制・取り組みなど、世田谷区としての大きな道筋を伺います。

ANSWER

現時点におきましては、庁内連絡会というものを立ち上げまして、そこでさまざまに情報共有を図っているという段階ではございます。あと４年後といいましても時間がないという状況がございますので、よりスピード感を持ちまして、その庁内組織、推進本部、テーマごとの専門部会、こういうことも立ち上げていく予定でございます。
具体的に、例えばアメリカ選手団のキャンプ会場となる大蔵運動場や大蔵第二運動場、こういうものについての対応、さらには区全体に係りますおもてなし、観光、国際交流、ボランティア、さらには福祉や教育、こういう分野まで多岐にわたりますので、全庁挙げて取り組みを進めてまいりたいと考えております。

副区長



あっという間にこの４年というのは来ると思うので、大変忙しいことになるかと思いますが、本当にこの辺は慎重に、またスピーディーに進めていただきたいと思っております。大切なことはオリンピック・パラリンピックが４年後に終わって、やれやれというのではなく、その先にどういったものを残していけるかが重要です。

地域・地区の公共施設も建て替えへ

地域の拠点、玉川総合支所・区民会館は基本設計がまもなく発表され、２９年度より工事に入ります。そして老朽化が進んでいた地区の拠点、九品仏まちづくりセンターと奥沢まちづくりセンターも改築へと動き出します。地区防災機能の強化と地域包括ケアの推進等、社会状況の変化に対応するため、まちづくりセンターとあんしんすこやかセンター・社会福祉協議会の一体整備が進みます。

九品仏まちづくりセンター

築５２年が経過、老朽化した現在の建物があんしんすこやかセンター・社会福祉協議会と一体整備されるとともに、九品仏地区会館の別館としての集会施設も複合化される予定で平成３１年新庁舎での業務開始予定です。工事期間中はすぐ近くの奥沢地区会館を仮設事務所とする予定ですので工事期間中もまちづくりセンター業務は目と鼻の先ほどの場所で行えます。駅にも近く、参道の中という好立地条件は大変ありがたい存在です。



九品仏浄真寺参道にある現在の建物

奥沢まちづくりセンター

築５５年が経過、老朽化に加え手狭なために一体化が難しいとされていましたが、このたび、現在の場所からすぐ近くで、同じように自由通りに面した土地（約５００㎡）が購入でき、新たなまちづくりセンターの建設が（平成３２年頃）可能となりました。

もちろん複合施設としての機能が可能で、これから奥沢・東玉川地区の公共施設としてどのようなものがふさわしいか、皆さんとともに考えていきます。



自由通り沿いの予定地（この先約３０メートルが現在のまちづくりセンター）

交流自治体 宮古島市表敬訪問 4/19～21

世田谷区と交流自治体の宮古島市を初めて訪問しました。

宮古島市には、毎年８月の世田谷区民まつりに参加していただき、世田谷区からは４年に１回ですが、有志議員団（今回は１７名）が表敬訪問しています。前回の訪問は参加できませんでしたので私にとっては初めての訪問です。
海の美しさに感動しました。





東平安名崎灯台より

２８年度の議会での役職・所属

企画総務常任委員会委員長

企画総務委員会は公共施設の維持管理、財政全般、公共工事案件、地域行政に関すること等を所管する委員会です。

地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会委員

本委員会は地方分権に向けた自治権の拡充、公共施設整備や地域行政制度の在り方、そして本庁舎整備（建て替え）への取り組みを強化する為の委員会です。

後援会入会のご案内

和田ひでとしを応援してくださる皆さまに、後援会入会のご案内をさせていただいております。「新春のつどい」や「初夏のつどい」の開催など、皆さまと共に作り上げていきたいと思っております。

和田ひでとし後援会についてのご質問やご入会方法など、詳しくはホームページ上の入会フォームや電子メール、または 和田ひでとし までお電話やファックスでお気軽にお問い合わせください。おまちしております。

今後の予定

- **区議会臨時議会**　５月１２日（木）～１８日（水）
- **区議会第２回定例会**　６月１３日（月）～２２日（水）
- **和田ひでとし初夏のつどい**
  平成２８年７月２１日　１９時より
  玉川区民会館４階集会室
- **世田谷区民まつり**　８月６日（土）～７日（日）